

F&P AIRVO™ 2

消毒用キットマニュアル



PHILIPS

Distributor

Fisher & Paykel
HEALTHCARE

開始前に

このユーザーマニュアルは医療従事者用です。

すべての警告を含め、このユーザー マニュアルをお読みください。遵守しないと傷害や感染のリスクを増大させる恐れがあります。さらに、AIRVO 2 ビデオガイドをご覧ください。後日の参照用に安全な場所に保管してください。

さらに疑問があれば、最寄りの Fisher and Paykel Healthcare 代理店にご連絡ください。

目次

1. 概要	A - 2
警告	A - 2
パッケージの内容 (900PT600)	A - 2
2. 再処理手順	A - 3
3. 洗浄	A - 4
4. 高度消毒	A - 6
5. 保管	A - 9
6. 消毒履歴	A - 10
7. 記号の定義	A - 10

1. 概要

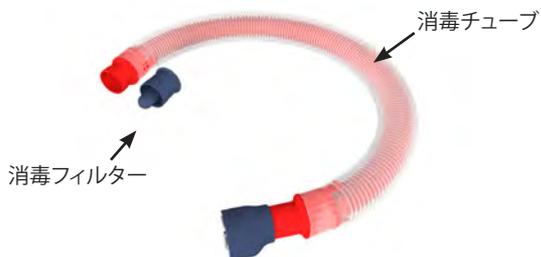
900PT600 消毒キットは、AIRVO 2 加湿器の排気エルボーの高度消毒を実現するために使用されます。

このマニュアルは、洗浄、付属の消毒チューブとフィルターを使用する高度消毒、および適切な保管方法など、各患者に使用するたびに行なわなければならない推奨再処理手順について説明します。

△警告

- この消毒キットは、以降「ユニット」/「AIRVO 2」として言及する Fisher & Paykel Healthcare AIRVO 2 の加湿器に対してのみ使用してください。

パッケージの内容 (900PT600)



消毒キットのマニュアル

洗浄用スポンジ棒 (2 個入りパック)



清浄保管用カバー (3 個入りパック)



別売りで入手可能な付属品

900PT602 洗浄用スポンジ棒 (20 個入りパック)

900PT603 清浄保管用カバー (20 個入りパック)

2. 再処理の手順

一名の患者の治療が終了するごとに AIRVO 2 加湿器を洗浄、消毒してください。終了後直ちに実施してください。熱線入り回路接続ポートに付けられた排気エルボーを適切に掃除、消毒することは特に重要です。



各患者に使用するたびに以下の手順を実施してください。

洗浄	推奨の洗浄剤を使って排気エルボーと外面の汚れを拭いてきれいにします。
高度消毒	消毒チューブを使って消毒サイクルを行います。
保管	AIRVO 2 を適切に保管してください。

ユニットや付属品を扱う際に、感染のリスクを抑えるための標準的な無菌テクニックを使用してください。これには、手を洗うこと、接続ポートに手で接触しないこと、使用済み消耗品を安全に処分すること、また洗浄と消毒後にユニットを適切に保管することなどを含みます。

注：防護手袋の使用を強く推奨します。

3. 洗浄



この洗浄ステップは、消毒サイクルを行なう前に排気エルボー（右側のチャンバーポートと熱線入り回路接続ポートの間）から残留物を除去することを目的としています。消毒サイクルの効率を確保するため、この洗浄ステップを最初に行なうことが重要です。さらに、ユニットの他の表面を清掃することは重要です。

左側のチャンバーポートを洗浄しないでください。

以下の道具が必要です：

洗浄用スポンジ棒

- Fisher & Paykel Healthcare から購入することができます (900PT602)



刺激の少ない洗剤



70% アルコール液または70% アルコールワイブ

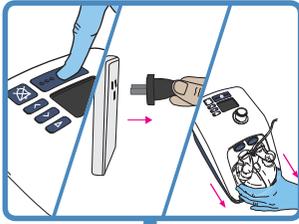


清潔な使い捨てのリントフリー布



⚠ 警告

- 上記の製品は Fisher & Paykel Healthcare によって確認されています。上記のどの製品も入手不可能な場合、研磨剤を含まず、非腐食性の毒性の低い他の中性洗浄剤を使うこともできます。ポリカーボネートプラスチックの洗浄に適さない洗浄剤（例えば、アンモニア、水酸化アンモニウム、苛性ソーダ、ヨウ素、メタノール、変性アルコール、テレピン油や次亜塩素酸ナトリウム等のアルカリ性漂白剤など）を使用してはいけません。
- 必ず清潔で湿ったリントフリーの布で残留物を除去してください。



AIRVO 2 洗浄の準備

ユニットの電源を切ってプラグをコンセントから抜きます。
給水チャンバーと呼吸チューブを取り外して安全に処分します。

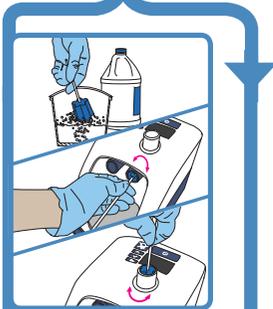


排気エルボーの洗浄

排気エルボーは右側のチャンバーポートを熱線入り回路接続ポートに接続しますが、その前に洗浄しなければいけません。

次のいずれかで洗浄してください。

- 温水と低刺激性洗剤とともに洗浄スポンジ棒を用いる方法（推奨）。
- または
- 温水と低刺激性洗剤とともにリントフリーの布を用いる方法。



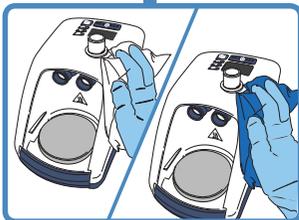
洗浄用スポンジ棒を使う方法

- 洗浄スポンジ棒を温水と低刺激性洗剤の液体に浸します。
- 排気エルボーの両端からスポンジ棒を回しながら、すみずみまで洗浄します。
- 汚れを全て取り除きます。
- スポンジ棒を流水でゆすいで、そして前と同じようにスポンジ棒を回しながら排気エルボーから残留物を取り除きます。
- 洗浄用スポンジ棒を廃棄します。



使い捨ての布を使う方法

- 排気エルボーの両端から指で布を回しながら、すみずみまで洗浄します。
- 汚れを全て取り除きます。
- 清潔で湿ったリントフリーの布で同じプロセスを繰り返して残留物を全て取り除きます。



AIRVO 2 の外側表面の掃除

- アルコール ワイブを使うか、アルコール液を清潔な使い捨てのリントフリーの布に湿らせて、ユニットの外側の表面を拭き、空気乾燥させます。
- 目に見える汚れ（血液、粘液など）がある場合は、温水と低刺激性の洗剤の液体でぬらした布を使ってユニットの表面を清掃します。湿らせた清潔な使い捨てのリントフリーの布を使って残留物を全て取り除き、その後アルコールワイブまたは布を使って清掃を完了します。

4. 高度消毒

このステップでは、AIRVO 2 消毒キット 900PT600 の赤色消毒チューブと青色消毒フィルターを使って AIRVO 2 の消毒サイクルを実行します。消毒サイクルは推奨の周囲温度と湿度（以下を参照）で行なってください。

このサイクルは、排気エルボーを熱線入り回路接続ポートの所で 87 °C (189 °F) まで 30 分以上加熱することにより高度消毒が行われていることが確認されています。

毎回の消毒サイクルでこの条件が遵守されるよう、AIRVO 2 は (独立した 2 個のセンサーから) サイクル中の時間と温度の情報を記録します。消毒サイクルはサイクルが正常終了した場合にのみ完了します。

以下の道具が必要です：

- 消毒チューブ
- 消毒フィルター

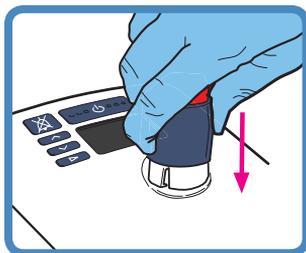


動作条件：

- 周囲温度：18～30 °C (64 - 86 °F)
- 湿度：60～95% RH

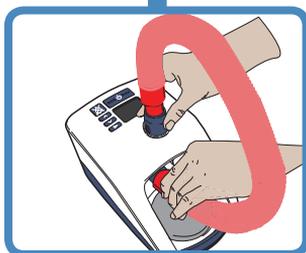
⚠ 警告

- 消毒サイクルを実行する前にすべての酸素供給源からユニットを切断してください。
- 消毒キットを無菌室で使用しないでください。
- 消毒キットを作動する前にユニットの外部表面が乾燥していることを確認してください。
- 消毒チューブまたはフィルターをいかなる方法でも改変しないでください。
- 消毒チューブを付けたり外したりするたびに必ずユニットの電源を切ってください。
- 消毒チューブの中に決して消毒液や洗剤を噴霧しないでください。
- 消毒チューブを覆ったり、またはフィルターを詰ませたりすると、ユニットの故障につながる恐れがあります。
- 消毒チューブが損傷した場合、新しいキットを注文してください。フィルターの交換品は別売品 (2個入り、900PT601) もあります。

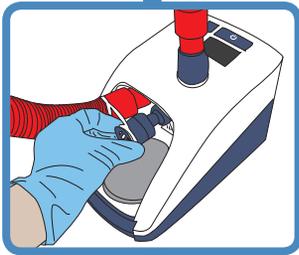


1. 赤色消毒チューブを AIRVO 2 に接続する

消毒チューブの片方の端には青色プラスチック接続部があります。スリーブを持ち上げて接続部をユニット内に入れ、スリーブを押し下げてロックします。

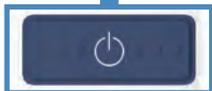


右図のように消毒チューブの赤い先端を左側のチャンバーポートに接続し、完全に押し込みます。



2. 青色フィルターの取り付け

図示のように、青色フィルターを右側のチャンバーポートに取り付け、しっかりと押し込みます。



3. 消毒サイクルの開始

電源ケーブルをコンセントに差し込み、ユニットのピープ音が鳴るまで「オン/オフ」ボタンを3秒間押し続けると消毒サイクルが開始します。

⚠ 警告

- 消毒サイクルを実行する前にすべての酸素供給をユニットから切断してください。



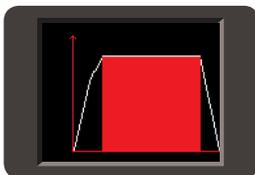
4. 暖機と較正

ユニットはまず約2分間かけて一連の較正チェックを行ないます。この間「暖機」の記号が画面に表示されます。



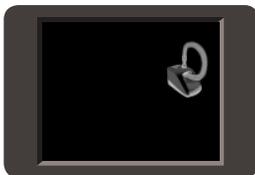
5. 消毒中

較正が正常に完了した後、消毒サイクルが開始され55分間実行されます。



随時「モード」ボタンを押すと、実行中の消毒サイクルのグラフが表示されます。このグラフは以下の情報を示します：

- 時間 (分)
- 温度 (°C)



5分間にどのボタンも押されない場合、スクリーンセーバーが起動します。

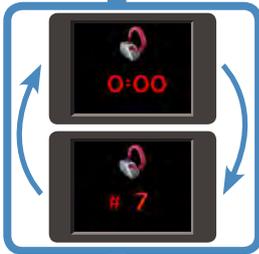
6. トラブルシューティング



消毒中に問題が発生した場合、ディスプレイが点灯してユニットがピープ音を鳴らします。ユニットのスイッチを切って再起動してください。問題が解決しない場合は、エラーコードを書き留めて Fisher & Paykel Healthcare 担当者に問い合わせてください。



消毒中に酸素が検出された場合は、「酸素源の切り離しを促す、酸素源の切断メッセージ」アラームが発報され消毒サイクルが停止します。



7. 消毒後

消毒が正常に終了した後、ディスプレイは左図のようにゼロに達します。このディスプレイは実行された消毒回数と交互に表示されます。詳しくはセクション 6「消毒履歴」を参照してください。



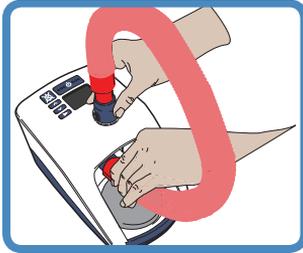
8. AIRVO 2 の電源を切る

ユニットの電源を切ってプラグをコンセントから抜きます。これでユニットを保管することができます。

5. 保管

消毒サイクルの後、必ずユニットを適切な仕方での保管してください。このステップでは、清浄保管用カバー（900PT603）または各患者に使用する間に排気エルボーを汚染物質から保護する他の方法を使用します。

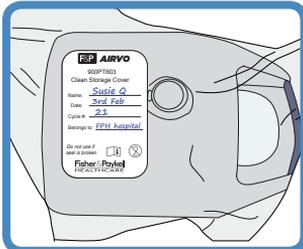
清浄保管用カバー（900PT603）を使う方法



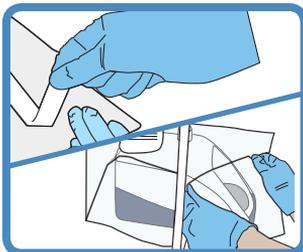
AIRVO 2 から消毒チューブとフィルターを取り外します。消毒チューブを取り外すには、チューブの損傷を防ぐために、必ずスリーブを押し上げてください。



識別記録がはっきり見えるように記録部分がディスプレイとボタンの上になるようにAIRVO 2 を洗浄保管用カバーで包んでください



前回の消毒プロセスを記録するには：
カバーの記録欄に詳細を記入します。



清浄保管用カバーを粘着タブで密閉します。

ユニットを密封した後：
ユニットと消毒キットを、埃がなく清浄な医療機器の保管場所に適切に保管します。

その他の保管方法

清浄保管用カバーを使用しない場合、代替保管法は、消毒チューブおよびフィルターを AIRVO 2 に接続したままにしておくことです。ユニット（消毒チューブとフィルターを接続したまま）を医療デバイスに適切な清潔で乾燥した埃のない場所に保管してください。

6. 消毒履歴

消毒回数とは、消毒サイクルを記録するために利用される個別の数字です。



各消毒サイクルの後

消毒サイクルが1回目に正常に完了すれば「#1」が表示されます。そして、消毒サイクルが正常に完了するたびにこの番号が増えています。

「#7」は当該の AIRVO 2 で 7 回の消毒サイクルが正常に完了したということを表しています。

AIRVO 2 起動時

患者の治療のために AIRVO 2 を起動すれば、以下の情報がディスプレイに表示されます。

- ・ 信号記号 (以下で説明)
- ・ 正常に完了した前回までの消毒回数。
- ・ 正常に完了した前回の消毒サイクルから経過した時間が日数と時間数で表示されます。



正常な消毒サイクル後に始めて電源を入れる場合:

緑色の信号が表示されます。

この AIRVO 2 ユニットは新しい患者に使用できます。



正常な消毒サイクル後に電源を入れるのが初回ではない場合:

オレンジ色の信号が表示されます。

この AIRVO 2 ユニットは新しい患者への使用する前に事前に消毒サイクルが終了していることを再度、ご確認ください。

7. 記号の定義



注意
添付文庫参照



廃棄
しないでください

CE 0123

95/42/EEC
クラス IIa

■ 機器のトラブルは...24時間対応、安心の技術サポート

平日 9:00~17:30の受付

夜間・土日休日の受付 (平日17:30~翌9:00、土・日曜日と祝祭日)

地域営業所・出張所・駐在

機器安全センター フリーダイヤル **0120-633-881**

製造販売業者

Fisher & Paykel Healthcare 株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-8-2 いちご桜ビル

電話: 03-5117-7110 (代表) FAX : 03-5117-7115

販売業者

フィリップス・レスピロニクス合同会社

〒108-8507 東京都港区港南二丁目13番37号フィリップスビル

マーケティング部 03-3740-3245

www.philips.co.jp/respironics/

PN 1125945 151101 R1-W

CE 0123

販売名: フロージェネレーターAirvo
承認番号: 22500BZX0041 7000